

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8237
担当部課名	経済部	産業振興	課	産業政策 班
事務事業名	相模原市産業振興財団経費		事業コード	31110

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	立地特性を生かした産業の振興をめざします	事業開始年度
基本施策名	第1節	活力ある産業の振興	4年度
施策名	第1施策	総合的な産業振興施策の推進	

2 実施根拠及び関連法令等

--

3 事業概要

(1) 事業の目的	(2) 対象(誰、何)
社会経済の国際化及び情報化並びに技術革新の進展に対応するため、産業振興に係る各種フェアの開催、企業経営の向上促進及び産業技術の振興に係る講演会等の開催並びに各種産業経済情報の収集・提供等を行い、相模原市の地域経済の活性化に寄与することを目的に設立された相模原市産業振興財団を財政的に支援するもの。	市内産業関係者 一般市民
	対象数

(3) 平成13年度事業の内容	(4) 総合計画・実施計画における概要
1 産業振興に係る各種フェアの開催 (1) さがみはら産業フェスティバル(来場 9,700人) OA機器等の展示、特産品の販売 (2) 産業&環境フェア2001の開催(来場 7,500人) 環境配慮型製品の紹介 2 産業経済情報の収集及び提供 (1) インターネット・データベース構築事業 ホームページで企業・行政等の情報を提供 (2) SOHO支援事業 「相模原・津久井SOHOスクエア」の運営 3 相模原市立産業会館の管理運営及び経営相談 (1) 利用件数 2,615件 利用人員 96,812人 (2) 経営相談件数 91件	(5) 個別計画の概要
	計画名
	計画年次
	年度~ 年度

4 評価指標

指標名			
指標式			
指標設定の意図			

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標			a	b		
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	35,200	35,194	40,460	40,460	90,857
	人員・時間数					
	人件費					
	その他経費					
	合計	35,200	35,194	40,460	40,460	90,857
特定財源						

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 =
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%>)	

$\frac{a}{b} \times 100 =$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
----------------------------	----------------------------	----------------------------

理由：

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A : 適応している	理由： 地域経済の活性化に向け、情報技術の進展に即応し、インターネット事業の充実を図るなど、企業ニーズに適合した事業の実施を行った。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 A ▼	A : 妥当である	理由： 財団のホームページで各種情報を提供したり、財団主催のパソコン研修には約900人が受講するなど、OA化に対応した貢献が出来た。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 C ▼	A : 代替の可能性ない	理由： 産業振興財団そのものが、本市経済の振興のために、より産業界に近いところで企業ニーズに即応できるように、相模原商工会議所と相模原市が設立したものの。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 A ▼	A : 満足できる	理由： 市民の各種フェアへの参加やパソコン研修への参加など、産業界だけでなく一般市民の利用や啓発にも貢献できた。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A : 有効である	理由： 総合的な産業施策の推進のためには、継続した企業情報の収集・発信が欠かせないし、企業経営向上促進のための各種講演会・フェア等の開催が必要とされる。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p> 産業の国際化に対応して、海外へ本市産業界の情報を発信したり、逆に海外の情報を収集・提供することが必要になってくる。
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p>

7 総合評価

評価 A ▼	他自治体の類似事業との比較	産業の振興のために、各種講演会・研修会の開催や情報の収集・発信は欠かせないし、それらを即応的に自由に展開するために、産業振興財団への補助は必要である。
	今後の進め方	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続	説明	
<input type="checkbox"/> 見直し		
<input type="checkbox"/> 廃止		
<input type="checkbox"/> 完了		

8 二次評価における変更点